



ま ち の わ だ い

町内の主なできごとと、頑張っている皆さんの姿をお伝えします！



5/28



牛乳券の寄贈

生産者支援と町民の健康維持を願って

町内の農業協同組合(幕別町、札内、忠類)から町内の牛乳消費拡大事業として牛乳券の寄贈がありました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため休校が続き、消費が低迷している牛乳・乳製品の購買促進のため、また年配者や子供たちの健康維持のために使用してほしいことから、今回の寄贈に至りました。寄贈された牛乳券は、町内介護福祉施設、保育所、病院などへ配布いたしました。

5/28



記念品の寄贈

幕別ライオンズクラブ創立50周年を迎えて

同クラブは昭和45年に結成され、地域に根ざした社会奉仕活動を多岐にわたって行ってきました。同クラブが創立された年は、忠類地域でナウマン象の化石骨が発掘された年でもあり、半世紀に渡る長い歴史を共に歩んできました。そこで「パークゴルフとナウマン象の町」を一層確かなものとするために、今回ナウマン象の復元模型を製作し、寄贈いただくこととなりました。

5/25~



町営牧場受入開始

大草原でのびのび

忠類地域の町営牧場で入牧が行われました。運ばれてきた牛たちはトラックから降りた後、広い敷地内を元気いっぱい駆け回っていました。預託された牛たちはこの後、5カ月ほど牧場で過ごします。今年は、共栄、晩成、南勢の3カ所で合計840頭の受け入れを行う予定です。



5/21



車両の寄附

天候にも恵まれ、受納式開催

町内で運送業を営むエイシン運輸有限会社より、町へ軽自動車(スズキ ワゴンR)2台の寄附がありました。寄附当日は役場庁舎前で車両受納式を行いました。同社からは平成14年にも同じく軽自動車を2台いただいております。今回寄附された2台についても公用車として大切に使用させていただきます。



6/2



マスクの寄贈

子どもたちの感染症予防へ

町内で建設業を営む森若建設株式会社よりマスク5000枚(子供用3000枚、大人用2000枚)、アルコール消毒液18Lとボトル10本の寄贈がありました。森若社長は「日頃から町にはお世話になっている。感染症防止対策としてぜひ地域の子供たちや先生方に使ってほしい。」と仰っていました。寄贈されたマスクは町内小学校へ配布する予定です。

5/28



絵本の寄贈

子供たちの心を豊かに

忠類地域で建設業を営む加藤建設株式会社より絵本600冊(15冊×40セット)の寄贈がありました。今回寄贈された絵本は加藤社長の姪にあたる「かとうまふみ」さんの作品で、加藤社長は「作者の発想が豊かで、大人が読んでも楽しめるものばかり。是非たくさんの子供たちに読んでほしい。」と仰っていました。寄贈された絵本は町内小学校、保育所、幼稚園などに順次設置予定です。

5/26



忠類保育所ミニ農園植えつけ作業

大きくなあれ！

忠類保育所でミニ農園の植えつけ作業が行われました。園児たちははじめに保育所内で野菜の持つ栄養や植え方についてイラストを見て学習した後、農家を営む保護者の指導のもと、今年はジャガイモ、トマト、スイカなどを植えました。植えつけ後に、収穫できる日を心待ちにしながら、農園に水をまきました。



5/26



消毒液の寄贈

長期的な地域貢献

町内で土木建築等のサービスを行っているナカムラ技建株式会社より、教育委員会へ消毒液(次亜塩素酸水)の寄贈がありました。同社は町の給食配送業務を10年以上請け負っており、中村社長は「ぜひ子供たちに使ってほしい。今後もコロナウイルス第2波、第3波を見据え、様々な形で町に貢献していきたい。」と仰っていました。寄贈された消毒液は町内教育施設、スポーツ施設などで使用する予定です。



まちのわだい



町内の主なできごとと、頑張っている皆さんの姿をお伝えします！

6/17



ハンドソープ寄贈

新型コロナウイルス感染予防のために

幕別町商工会青年部より感染症予防に活用していたきたいと薬用ハンドソープ(5kg×40箱)の寄贈がありました。町長は「子どもたちに流行しないよう予防対策として使用していきたい」と仰っていました。寄贈されたハンドソープは、町内小学校、学童、幼稚園、保育所(園)へ配布予定です。



6/17



ライン引き作業

まっすぐキレイに！

中札内高等養護学校幕別分校の生徒さんが教育委員会駐車場のライン引き作業を行ってくれました。当日は気温も高く、日差しも強い中ではありますが、水分補給をこまめに取り作業にあたってくれました。中には細かい作業もありましたが、互いに声をかけ合いながらキレイなラインを引いていただきました。ありがとうございました。



6/11



忠類ナウマン象発掘 50周年記念事業

かぼちゃプロジェクト！

忠類小学校の農園で育てた「かぼちゃ」を札幌円山動物園のアジア象にプレゼントする企画が実施されました。植栽に小学校の5、6年生が参加し、苗が大きく育つようにと心を込めて植えました。この後、小学校で大切に育てられ収穫されたかぼちゃは、6年生が修学旅行で札幌に行くときに合わせて、アジア象にプレゼントする予定です。



6/17



農業用ドローンテスト飛行

スマート農業へ

農研機構(茨城県)が実施する「労働力不足の解消に向けた農業実証」の委託先にJA幕別町を代表機関とするグループが選ばれました。この日は、農業用ドローンのテスト飛行が帯広農業高校内ほ場で行われ、ドローンを使った散水作業を見せていただきました。JA幕別町の下山宮農部長は「農業の人手不足の解消に役立てたい」と仰っていました。



6/9



感謝状の贈呈

スポーツ推進委員退任

昭和44年から51年余り、スポーツ推進委員として活躍された丸田耕志さんが、令和2年4月30日をもって退任されました。町民の健康増進とスポーツ推進に貢献いただいたそのご功績に心から敬意を表し、町長から感謝状をお渡ししました。

※スポーツ推進委員とは…

スポーツ活動の促進を図ったり、スポーツの実技指導などを行う、町民の身近な生涯スポーツのサポーターです。

6/9



花いっぱい運動

忠類市街地に花で彩りを

手づくりのまち推進委員会忠類事業部による「花いっぱい運動」が行われ、忠類地域の国道236号線沿いとパークゴルフ場、忠類コミュニティセンター、忠類墓地に花苗が植栽されました。地域の住民や事業所、忠類小中学校などから約130人が参加し、ペゴニアなど約3,500株を丁寧に植えました。



6/11



消毒液寄贈

十勝管内の感染症予防のために

有限会社ニューバックとがしより消毒液プロジアミスト(500ml×30本)の寄贈がありました。同社は十勝管内で学童や幼稚園用品の取引が多いこともあり、管内全ての市町村を回り消毒液を寄贈されています。町長は「今の生活の中で消毒液は必要不可欠なものとなっている。感染症予防対策として使用させていただきたい。」と感謝を伝えました。



6/10



町長杯ゲートボール大会

晴天の中、はつらつプレー！

幕別運動公園にてゲートボール大会が行われました。当日は天気がよく最高気温が30℃近くなる中、23名の方に参加していただきました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自粛要請が続き練習時間の確保が難しいなかでの大会開催となりましたが、皆さんははつらつとしたプレーを見せてくれました。

